

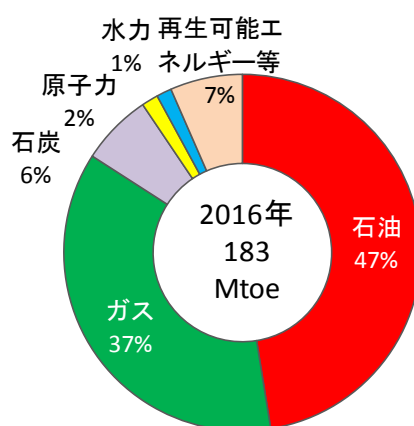
### 3-3 メキシコ

#### 1. サマリー

##### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2016年) : 183 百万 toe (日本の 0.43 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2016年) : 1.50toe (日本の 0.45 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 98%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2015年) : 442.3 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 38.7%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2015年) : 3.70 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 41.1%)
- (6) エネルギー別可採年数 (2016年末) : 石油 8.9 年、天然ガス 5.2 年、石炭 151 年

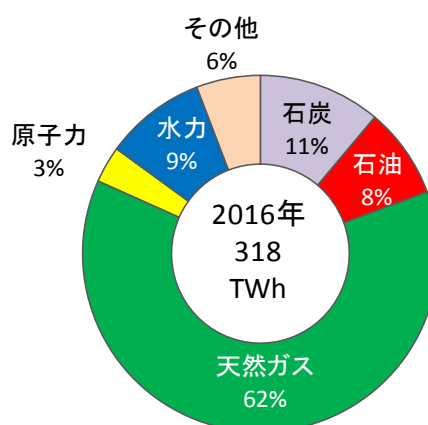
一次エネルギー供給構成 (2016年)



Country: Mexico

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

電力供給構成 (2016年)



Country: Mexico

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- メキシコのエネルギー政策機関はエネルギー省 (Secretaria de Energia : SENER) で、炭化水素(石油・ガス)、電力、計画・技術開発の3部門から構成されている。2017年11月末現在のエネルギー大臣は、Pedro Joaquín Coldwell氏である。
- エネルギー省の下には、石油・ガス事業を担う国営石油会社PEMEX(Petróleos Mexicanos)と、電力事業を担う電力公社CFE (Comision Federal de Electricidad)がある。また、国内の電力・天然ガス市場の事業や料金に係る規制などを行うエネルギー規制委員会(CRE)が設けられている。

### (2) 基本政策

- 2013年2月発表の「Estrategia Nacional de Energía 2013-2027」が、2017年現在のエネルギー政策の基本となっている。エネルギー安全保障、経済効率性と環境性、持続可能性の達成を原則とし、自国が有する石油・天然ガス資源の生産量維持や、クリーンエネルギーの利用拡大によるエネルギーミックスの多様化、省エネルギーを進めている。

### (3) 最近の動向

- 2017年11月、PEMEXによれば、メキシコは15年ぶりに陸上鉱区で大規模な埋蔵量を持つ軽質油ガス田を発見した。場所は、Veracruz港の南方72kmにあるIxachi-1鉱区、推定埋蔵量は最大3.5億boe。Peña Nieto大統領は、「経済的な価値は非常に高い、既存の開発インフラから比較的近いという戦略的な利点を持っていることから早期に開発に着手できる」としている。
- 2017年11月、IEAは11月7～8日にパリ開催された閣僚理事会で、30カ国目となるメキシコの新規加盟を決めた。Biroel事務局長は「ラテンアメリカ初の加盟で、大変意味合いが大きい」と述べた。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2004年以降メキシコからの原油輸入は停止されていたが、同国の政策変更により2014年から再開され、日本は2014年に約33万kl、2015年は233万klの原油をメキシコから輸入した。メキシコの原油輸出先として、日本は2014年の10位から2015年には4位に浮上、2016年もその地位を維持し、米国、スペイン、インドに次ぐ、重要な原油輸出先となっている。
- 2017年8月、双日はメキシコで太陽光発電事業に参画すると発表した。太陽光発電開発事業者であるAlten Renewable Energy Developments (オランダ)の株式を66.7%取得。同社を通じてメキシコ最大級の太陽光発電を計画する事業者2社の株式20%を保有する。日本企業がメキシコで太陽光発電事業に参画するのは初めて。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Mexico

(2016年)

(1) 一次エネルギー供給量		183 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		1.50 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.15 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		98 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量 (2015年)		442.3 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量 (2015年)		3.70 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	6 %
	石油	47 %
	天然ガス	37 %
	原子力	2 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	7 %
(8) エネルギーの輸入依存度		2 %
(9) 石油の輸入依存度		-44 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸出先	第1位	米国 (49%)
	第2位	スペイン (15%)
	第3位	日本 (7%)

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2017, IEA